

# 浅井かわら版

第 4 4 号  
令和 2 年 3 月  
浅井報徳地域振興会  
総務広報部会

## §浅井支え合いを考える会§

浅井支えあいを考える会は、去る 3 月 27 日（金）午後 7 時半より、浅井コミュニティセンターにおいて、今年度の活動報告会を開催しました。



浅井支え合いを考える会は、射水市地域支え合いネットワーク事業指針に基づき、高齢者の健康寿命の延伸、要支援者の重度化防止、見守り合い・助け合いができる地域の維持を目標として平成 30 年から「浅井ふれあい館」を運営してきました。

会議では、令和元年度の「浅井ふれあい館」の活動の状況を写真入りのパワーポイントで報告し、また参加者からのアンケート結果と、サポーターからのアンケート結果及び意見交換会の内容も一緒に紹介しました。

意見交換会で寄せられた様々な意見の中から、次年度は各单位自治会の 100 歳体操グループとの交流を行うこととし、そのため、浅井地区の生活支援コーディネーターを改選して、動きやすい方達に就任してもらうことを報告しました。

また、100 歳体操を含む「浅井ふれあい館」の活動内容は、高齢者が元気で長生きするために大変有意義である、ということ幅広く知って頂くため、地域振興会などの広報誌を通じて、PR を行うことが決まりました。

## §ちよこつとサポーター意見交換会§

浅井支えあいを考える会は、3 月開催予定の活

動報告会に先立ち、去る 2 月 14 日（金）午後 1 時半より、浅井コミュニティセンターにおいて、サポーターとして参加された皆さんの感想等を伺うため意見交換会を開催しました。



浅井ふれあい館は 2 年間の活動を経て、サポーターの皆さんもそれぞれ数回経験されたので、意見交換会では多数のご意見を伺うことができました。それらをまとめて、3 月開催の「浅井支えあいを考える会」に報告しました。

## §射水市長杯囲碁大会開催§

去る 2 月 22 日（土）午前 9 時より、浅井コミュニティセンターにおいて、浅井囲碁クラブ主催「第 28 回射水市長杯囲碁大会」が開催され、参加者 22 名が熱い戦いを繰り上げました。



その結果、A クラスでは優勝浦野 隆氏、次勝久津武司氏、参勝才高信安氏、B クラスでは優勝延沢 勇氏、次勝湊 国光氏、参勝荒井勝之氏がそれぞれ栄冠を獲得しました。

## 各部の活動の紹介

【安心安全部】  
出初式 1月4日



新しい年を迎え、消防団浅井分団は浅井地区の火災予防と消防活動の安全を目指し、訓練を兼ねて恒例行事の一斉放水を行いました。

【健康福祉部】  
サロン連絡協議会 3月27日



浅井地区内に4つある「いきいきサロン」の代表者が集まり、お互いに参考にするため、昨年度の事業や決算について意見交換しました。

【安心安全部】  
コミュニティセンター消防訓練 2月14日



浅井コミュニティセンターは、ちょこっとサポーター意見交換会の出席者にも参加してもらい、今年度2回目の消防訓練を行いました。

【文化スポーツ部】  
卓球大会 2月9日



第42回浅井住民卓球大会は、参加6団体が熱戦を繰り広げた結果、優勝は上条団地チーム、次勝は島・上条チームでした。

【健康福祉部】  
浅井地区社協視察研修 2月12日



浅井地区社会福祉協議会は、視察研修のため砺波市宮森の富山型デイサービス施設「ぼぴー村」を訪ね、宮崎所長から詳しく話を伺いました。

【生活環境部】  
PTA資源回収 3月1日



大門小学校PTAは、3月1日に今年度4回目の資源回収を行い、各家庭から出た再資源化可能な廃棄物の収集に汗を流しました。



## 【生涯学習コーナー】

### 三世代交流のつどい『餅つき&伝承遊び』

2月1日（土）10:00～12:30

今年の三世代交流のつどいは、昨年も大好評だった餅つきと伝承遊びをしました。杵と臼を使った餅つきをメインとして、待ち時間を利用して伝承遊びを行いました。

参加者は、児童41名、祖父母・父母29名、浅井寿会や浅井地区社会福祉協議会、地域の有志の方26名の計96名と、とても多くの参加がありました。

餅つきは、児童クラブの親子が7つのグループに分かれ、2つの臼を使って11升の餅をつきました。



餅の種類は「きなこ餅」「ごま餅」「草餅」の3種類をつくりました。

今年初めて挑戦した草餅は、本物のヨモギの葉を使ってつくりました。餅作り経験者の地域の方にあんこの包み方なども指導してもらい、本格的な仕上がりになりました。一緒に作った子どもたちもとても嬉しそうでした。



伝承遊びは、寿会の方と児童クラブの親子がこまやかると、おはじきなどを楽しみました。

また、今回はヘルスポランティアの方が手作りされた紙コップのけん玉や、的当て形式のお手玉なげなどもあり、昔の遊び道具を使った新しい遊び方にも子供たちは興味津々で、伝承遊び、餅つき共に大満足の様子でした。



(三世代交流のつどい 続き)



最後に全員で机を囲んで、つきたてのお餅と食生活改善推進員の方に作って頂いた「鮭と野菜のスープ」を美味しくいただき、世代を超えた交流の場となりました。



## 浅井っ子教室 『卓球教室』

2月6日(木)、2月7日(金)、2月8日(土) 19:00~20:30

《講師》 麻生 善恵先生

1年おきに開催される浅井地区の卓球大会を前に、卓球の練習をしました。  
寒さにも負けず、3日間で延べ61人の子どもたちが元気に参加してくれました。  
経験者は自由に友達と練習や試合を楽しみました。初めて卓球をした子供たちは、先生にラケットの持ち方を習い、球を羽根つきのようにつく練習から始めました。  
最後には先生や友達とラリーができるまでに上達していました。

